

かんてつ 徹信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2014年7月 【第19号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

6月定例議会報告



一般質問の様子

6月藤沢市議会定例会が、6月5日から6月25日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成26年度藤沢市一般会計補正予算、工事請負契約の締結について（（仮称）藤沢駅北口第2自転車等駐車場新築工事）、藤沢市消防団員の退職報償金に関する条例の一部改正について、出資法人の経営状況（事業計画）報告などです。

なお、平成26年度一般会計補正予算の補正額は、10億1,936万4千円で、補正後の一般会計は、1,328億7,266万4千円となりました。

私は、市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。

今年度の役割

5月21日に臨時会が開催され、私は、建設経済常任委員会委員・補正予算常任委員会委員・行政改革等特別委員会委員・広報広聴委員会委員長となりました。

特に、広報広聴委員会では、昨年度に引き続き委員長となりましたので、議会報告会の開催をはじめ、市民に身近な議会となるよう、努力をしていきたいと思っております。

1. 藤沢市自然実態調査

環境基本計画に基づき、市内の緑地等を対象に調査を行いました。

今回は、10年前に行った場所に加えて48カ所を調査しています。調査結果は次のとおりです。

(1) 開発など人間活動による影響

- ①人の手が加えられた場所にある草地（二次草地）が全市で約3倍に増加
- ②住宅地が約8%増加
- ③自然草地が前回の約4割まで減少
- ④畑地が前回の約7割まで減少
- ⑤自然林・二次林（人の手が加えられた場所にある林）が全体では前回の約8.5～9割に減少

(2) 自然に対する働きかけの縮小による影響

良好な環境を指標とする動植物種の減少を確認

(3) 人間により持ち込まれたものによる影響（特定外来生物の定着）

：アライグマ、タイワンリス、オオグチバス等のほか、カミツキガメ、オオキンケイギク、アゾラクリスタータを確認した。

(4) 地球環境の変化による影響

温暖化の影響で（ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、ムラサキツバメなど）南方種の定着と増加が確認された。

このような調査は、将来にわたり自然と共存していくうえで極めて重要であり、調査結果に伴う適切な対応が求められます。

2. 待機児童と保育所整備について

(1) 待機児童の状況

平成26年4月1日現在の認可保育所の待機児童数は258人（去年同期277人）。

(2) 保育所の整備状況について

①緊急保育対策2か年計画（今年度までに定員820人の拡大を目標）に基づく整備状況

【平成25年度】

- 150人の定員拡大

【平成26年度】

- 藤沢地区で80人定員の保育所を開設予定
 - 27年4月の開設をめざして、鶴沼・湘南台地区に保育所整備
 - 明治地区において整備計画を進行中
→合計で330人の定員拡大を予定
- ※その他、遠藤・湘南大庭地区等で90人、辻堂地区で60人定員増の計画を進めるとともに、認可外から認可または小規模保育への移行支援を行い目標定員の確保に努める。

②高砂保育園の民営化について

開所時期については、平成27年4月を目途に調整してきたが、保護者への説明と理解に時間を要したことから、現時点で6か月以上遅れる見込みである。また、保護者の意向を受けて、民間への移行後も本市の保育士が引き継ぎ保育を出来るようにした。

③しゅやがはら保育園の移転に伴う新園舎整備の進捗状況について

平成28年4月からの保育開始をめざして、9月中には詳細な実施設計を完了させるとともに、早期に工事着手するため、9月議会に工事費にかかる補正予算を上程する予定。

なお、移転後における現園舎については、民間法人から、子育て関連施設として利用したいとの相談があることや、待機児童の状況等を踏まえ、今年度中に検討を進めていく。

3. 藤沢北口に駐輪場を整備

藤沢駅北口のミナパークの近くに自転車900台、ミニバイク200台が駐められる駐輪場が来年2月末に出来上がる予定です。

この整備によって、課題となっている藤沢駅周辺の放置自転車の削減に期待します。

4. バイオガス化施設の検討状況

平成 25 年 6 月から10ヶ月間実施した、試行収集及びアンケート結果などが報告されました。

【アンケート結果】

- 市民の分別負担感・・・約49%
- 市民の協力率（試行区域内）・・・75%

今後、結果を踏まえてバイオガス化施設を導入するかどうかについて、様々な課題を総合的に検証・検討し、9月議会に報告がされる予定です。

私は、「同規模施設の運営が全国的にされていないこと」「全国初で運営した有機質資源再生センターが失敗し撤退に追い込まれたこと」などから、現時点では導入するべきではないと考えます。

5. 手話言語法制定を求める意見 提出を求める請願を採択

この請願は、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話で学ぶことができる環境の整備を目的とした「手話言語法（仮称）」制定について、国へ意見書の提出を求めるもので、全会一致で採択されました。

6. 主な補正予算

- ①市民センター整備費 9,790万2千円
鶴沼市民センターの耐震補強工事及び屋外階段、屋上転落防止フェンス等の設置を行うもの。
- ②商店街経営基盤支援事業費 458万6千円
商店街の安全・安心な買い物環境を確保するため、街路灯のLED化、防犯カメラ設置にかかる費用の一部を助成するもの。
- ③善行長後線街路新設事業費 1,741万円
未整備区間に位置するゴルフ練習場について、継続交渉に必要な補償額算定のための建物調査を行うもの。

一般質問を行いました！

市民サービスを直接行う職員について、やりがいを持って、仕事をするためにはどのような課題があるのか？やりがいを持って仕事をして、結果として市民サービスの向上につなげるためにはどうすべきか？という視点で一般質問を行いました。

【質問】職員がやりがいを持って、良い市役所にするためには、何が必要と考えるか。

【回答】一人ひとりの職員がやりがいと向上心を持って、業務に向き合える職場環境の構築が重要であり、職員間の良好なコミュニケーションや協力体制の確保など、風通しのよい職場風土の構築を目指している。また、公務能率の向上によって総勤務時間を縮減し、ワーク・ライフ・バランスの実現を図っていくことが住民サービスの質的向上につながるものと考えます。

【質問】恒常的な長時間労働は過労死に繋がることもあり、その解消は大きな課題と考える。職員が、健康面・精神面において、元気で充実していないと、良い仕事に結びつかず、結果として良い市役所とはならない。本市の現状について、市の見解を伺う。

【回答】長時間労働については、社会全体の問題となっており、本市においても課題として捉えている。時間外勤務が月45時間を超えた月が3月連続した場合は、その職員に対して産業医面談を実施し、脳・心臓疾患の発症予防に努め、あわせて精神疾患等の発症予防のためメンタル面にも配慮し、心身ともに健康状態の確認を行い、長期病気休暇につながることをないよう取り組んでいる。また、職場における定数・定員については、既存業務はもちろん新規事業への取り組みなど業務量の把握に努めるとともに、時間外勤務や年次休暇の状況を含め、適正な職員配置となるよう関係団体（職員組合）とも協議を実施している。

おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来、多くの方にご覧いただいております。

議会の状況報告や、時事ニュースに対する私感のほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを写真付きで紹介しています。

藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹 検索  クリック

～ある日のコラムより～

「アクセス20万件！」

ホームページのアクセス件数が20万件に達した。市議会議員「おおや徹」が、どのような活動をし、どのような考えを持っているのか。これからはしっかりと報告をしていきたい。また、議会で、どのようなことが議論され、どのようなことが決まっているのか、他の議員の発言も含めて、市民の皆さんにわかりやすく、お知らせをしていくことを、これからは心がけていく。

アクセス20万件を契機に、初心忘るべからず！謙虚におごることなく、まじめに一生懸命、議員活動をしていくことを誓う。